

らく。平旦の氣をみるに。あしき人も。さすかに。よき人には。遠からず。只晝にあれば。見るもの。聞くものにつけて。物欲のてぐつよまつはりて。夜のまに。養ひし。良心も。いつしか。その身をはなれて。終には。禽獸に近づくなりとぞ。げにも。良心をみるは。あしたにころほき。まかるを。夜は。いつまでも。火ともして。油の費ゆることも。思はず。身の傷なふことをも。顧みず。うる言ひのしりて。さて。朝は。日のたくるまで。うつゝなく。熟睡ウツチして。起くれば。やがて。世のもだし難きに從ひて。とやせん。かくやすへき。と氣を狂はし。良心のありか。をたにしらず。人の寝ぬへき時に。起ゐて。起くへき時に。夢路をたどるまど。とかく朝夕をかへて。その世を終ふるもの。多かり。おれらは。眞に醉生夢死ともいふへきにや。世の中の人。返すくも。つとめて起き。よくろの生を痕ひ。よくろの心を求むべし。物を考かへ。智を長せしむるも。あしたにあり。物欲のいさみありとも。良心のその身を去らざるやう。あらしおかんも。あしたにあり。くれよもあらじひるにもあらじ。

奉祝 大婚二十五年盛典

隈本 繁吉

率土濱。恭值 大婚五々典。方在花紅柳綠

春。熙載冠蓋自習々。子來蒸徒悉莘々。禁闕

五大洲裡秀麗氣。凝成葦原瑞穗洲。山出醴

巖々鸞鳳舞。野林參差燕雀馴。慶雲叢處歡

泉流漾々。地產靈芝綠油々。奉戴 万世一

聲沸。甘雨降邊頌歌頻。於戲日月並懸乾坤

系帝。仁漸義摩三千秋。乃聖乃神王政新。允

鮮菊花桐葉契堯天。 帥帥舜微臣仰盛事。遙祈

武允文綱紀振。放勳光被四表外。昭明時雍

天長地久罔極年一

謹奉祝

天皇皇后兩陛下大婚二十五年之
大典時陰霖連日此日乃晴

秋月胤繼

宿雨初晴絕片塵東風三月滿眸新普天下
悉薰高德率土濱皆唱至仁憶昔雙龍偕老
契已逢二十五年春真維千歲期今夜勿怪
龍南歌吹頻

山路逢雪

硯友會員 田中 尙志

黑兩飛雪雪如花曠野蕭條一路遐想像藍
關當日恨山頭立馬望京華

同題

同 白河 次郎

寒雲漠々與山連輕雪撲人路不前片々亂
飛如蝶舞蕭々靜積似花眠且知遺恨藍關
外更愛多情佐野邊駐馬何家掃衣袖茂林
幽處見炊烟

咏大石良雄

同 朝山 景秀

滿廷積雪血痕紅幾歲酸辛始有功雪可消
兮可身朽不消不朽箇精忠

同題

同 白河 次郎

不愆大義與名分一死効忠真絕群六十餘
州春夢裡玲瓏如雪獨推君

同題(席上分韻得陽)

同 朝山 景秀

不戴天讎誓不忘殺身全節是臣常古今史
上誰能比留得千秋竹帛香

同題(同得先)

同 隈本 繁吉

君辱兮臣死何人大義全難忘智伯恨潛影
豫生賢心事白於雪至誠似血鮮墓前揭首
處日月自皎然

